



人間ドックのご案内

あなたの健康が かけがえのない家族の財産です

今、大変便利な世の中になった反面、ストレスや運動不足・偏った食生活、不規則な生活、住環境の悪化等が増大して、多くの方々が生活習慣病の危険にさらされています。

健康な生活を送っていくためには、自らの健康状態のチェックをし、自らが自分の健康を管理していく必要があります。

ご自分の健康がどのような状態かを知り、問題があれば、できるだけ早期に解決するお手伝いをさせていただくのが、当院の人間ドックです。

健康について気になることがあれば、どうぞお気軽に相談ください。



お申込み・お問い合わせ

人間ドック・健診科へ
直接お申し込みいただくか、
お電話にてご連絡ください。

〒395-8505 長野県飯田市大通1丁目15番地
TEL **0265-22-5150** (内線5250)
<http://www.iida.or.jp/medicalcheckup/>
[受付時間] 月~土 8:30~17:00



当院の特徴

1 安心・丁寧な検査システム

高度な検査機器を装備し、的確・丁寧・スピーディーな検査体制の整備と、安心して検査を受けていただけるよう、心のこもった接遇を心がけております。

2 人間ドックのコース・オプションを自由に選択

一般コースの他に、腫瘍専門コース、脳ドックをご用意いたしました。また、ご希望の検査をオプションとして追加することもできます。

3 受診当日に結果がわかる

検査終了後、医師から検査結果の説明を行うことで、ご自身の現在の健康状態をすぐ知ることができます。

4 きめ細やかな指導・アドバイス

医師からの結果説明後には、担当保健師がお客様一人一人の健康・生活習慣に合わせたきめ細やかな指導・アドバイスを行います。



5 充実したアフターケア

人間ドックの結果、精密検査や治療が必要な方へは、担当保健師が次の検査（診療）予約などに迅速に対応いたします。また、結果が届いてからでもご不明な点がある場合には、結果説明・生活指導などの相談にのっておりますので、お気軽にお問い合わせください。



コースのご紹介

実施日・時間

実施日 月～土曜日（祝・祭日を除く）
時間 8:10～13:00

人間ドック 一般コース

自分の健康状態を知るとともに、がん、心臓病、高血圧症・高脂血症・糖尿病などの生活習慣病、肝臓病、腎臓病、貧血、呼吸器疾患など、種々の疾患を発見するためのコースです。

人間ドック 腫瘍専門コース

一般コースに胸部CT検査、腫瘍マーカー（血液検査）を加えたコースです。

脳ドック

クモ膜下出血の原因となる脳動脈瘤や、脳梗塞、脳腫瘍などの脳疾患を早期に発見するためのドックです。

健康診断

入社健診、労働安全衛生法による定期健診、生活習慣病予防健診など会社のご希望内容で実施いたします。また、進学、就職のための健診など、必要な診断書の発行をいたします。

ストレスチェック

50人以上の従業員がいる企業にはストレスチェックが義務化されました。当院でも実施できますのでご相談ください。

待合室から望む風越山

予約から結果報告までの流れ

ご予約

電話、又は来院にてご予約ください。完全予約制となっております。

案内問診票等の送付

案内書・問診票・検査キット等をお送りします

検査日当日のスケジュール

- ・受付 コース内容、検査項目によって受付時間をお知らせします
- ・問診・計測
- ・検査
- ・診察・結果説明
- ・健康相談・栄養相談
- ・会計

結果報告書送付

検査終了後、2～3週間程で検査結果を郵送にてお知らせいたします

人間ドック一般コースの内容

※時間は目安であり、
混み具合で前後します

8:30
~8:50

受付

問診・オリエンテーション

8:50
~9:50

問診・オリエンテーション

保健師が個別に行います。オリエンテーションでは、当日のドックの流れや検査について説明します。問診では、今までにかかったことのある病気、現在治療中の病気、気になる症状、過去の健診結果などをお聞きし、それらに関連して、生活環境や食生活などの生活習慣などもお聞きします。

血圧測定

高血圧や低血圧がないかを調べます。血圧が高い人は、そのままにしておくとう動脈硬化が進み、心臓病や脳卒中、腎臓病などの重大な生活習慣病の原因となります。血圧測定は、こうした生活習慣病予防に欠かせない検査です。

計測

身体計測

身長、体重、体脂肪率、腹囲から、肥満や内臓脂肪型肥満の有無などを調べます。

視力測定

近視、遠視、メガネ・コンタクトレンズの度が合っているか調べます。

検査

血液検査

血液学：貧血、白血病、感染症などを調べます。

血清学：B型・C型肝炎、細菌感染症、膠原病などを調べます。

生化学：急性・慢性肝炎やアルコール性肝炎、肝硬変などの肝臓疾患や、胆道系疾患、腎疾患、すい臓疾患などを調べます。

血中脂質：高脂血症の有無を調べます。

腎機能：腎疾患や痛風を調べます。

電解質：腎疾患や糖尿病、内分泌の病気を調べます。

尿検査

泌尿器疾患や糖尿病、肝機能障害、腎機能障害などを調べます。

肺機能検査

空気を肺にし入れする換気機能を調べます。肺活量のほか、平静時の息の量(一回換気量)や、一秒間で最大どれくらい吐き出せるかを調べる一秒率などを計測します。

心電図検査

健康な心臓の状態と変化の判定、不整脈(脈の乱れ、心臓のリズムの異常)の発見と診断、狭心症・心筋梗塞などの虚血性心臓病の発見と診断、高血圧に伴う心肥大などを調べます。



採血室

眼底検査

眼底カメラで眼底を撮影します。

眼底の血管は、体の中でもっとも鮮明に観察できる血管であるため、眼底検査では目の病気だけでなく、脳や血管など全身の病気について多くの情報を得ることができます。

超音波検査

超音波を使って、腹部の臓器や組織の状態を画像化して調べます。

便検査

あらかじめ2回分の便を採取して人間ドック当日にお持ちいただきます。この便を用いて潜血反応を調べ、消化管(胃や大腸など)に出血がないかを調べます。便潜血反応が陽性の場合、消化管の潰瘍や、大腸ポリープ、大腸がんなどが疑われ、この場合は、大腸内視鏡検査(医療保険適用)が必要になります。

胸部X線検査

肺の病気や心臓の病気など、胸部の病気の有無やその広がり、病巣の位置などを調べます。

胃部検査

胃の検査では、胃内視鏡検査(胃カメラ)または、胃レントゲン検査(バリウム)をお選びいただきます。

胃内視鏡(胃カメラ)

ファイバースコープ(内視鏡)で食道、胃、十二指腸の内部を直接観察します。食道・胃・十二指腸の病変の診断を行います。また、必要に応じて生検(臓器の一部の組織を採取して、悪性細胞の有無などを調べる組織検査:医療保険適用)などを行うことがあります。

胃レントゲン検査(バリウム)

バリウムを飲んだあと、体の位置を変えながら、食道・胃・十二指腸のエックス線写真を撮影します。この検査では異常の有無を調べ、異常がある場合は胃カメラ(医療保険適用)の検査が必要になります。

11:00~

医師の診察、検査結果説明

医師が診察を行い、検査結果を説明します。必要に応じて、日常生活改善のアドバイスや精密検査・治療に関する相談をいたします。

健康相談

医師による診察と結果説明が終わったあと、病気の予防や悩み、毎日の生活について、保健師が相談・指導をいたします。生活習慣病の予防やすでにかかっている病気の悪化を防ぐためには、日常生活の改善が不可欠です。人間ドックの結果や日常の生活習慣などを考慮しながら、生活改善を具体的にするために、相談・指導を行います。

12:30頃

終了



超音波検査機器



胸部X線検査機器



胃内視鏡

人間ドック腫瘍専門コースの内容

腫瘍専門コースでは、一般コースの検査内容のほかに、以下の項目が加わります。

1) 胸部ヘリカルCT

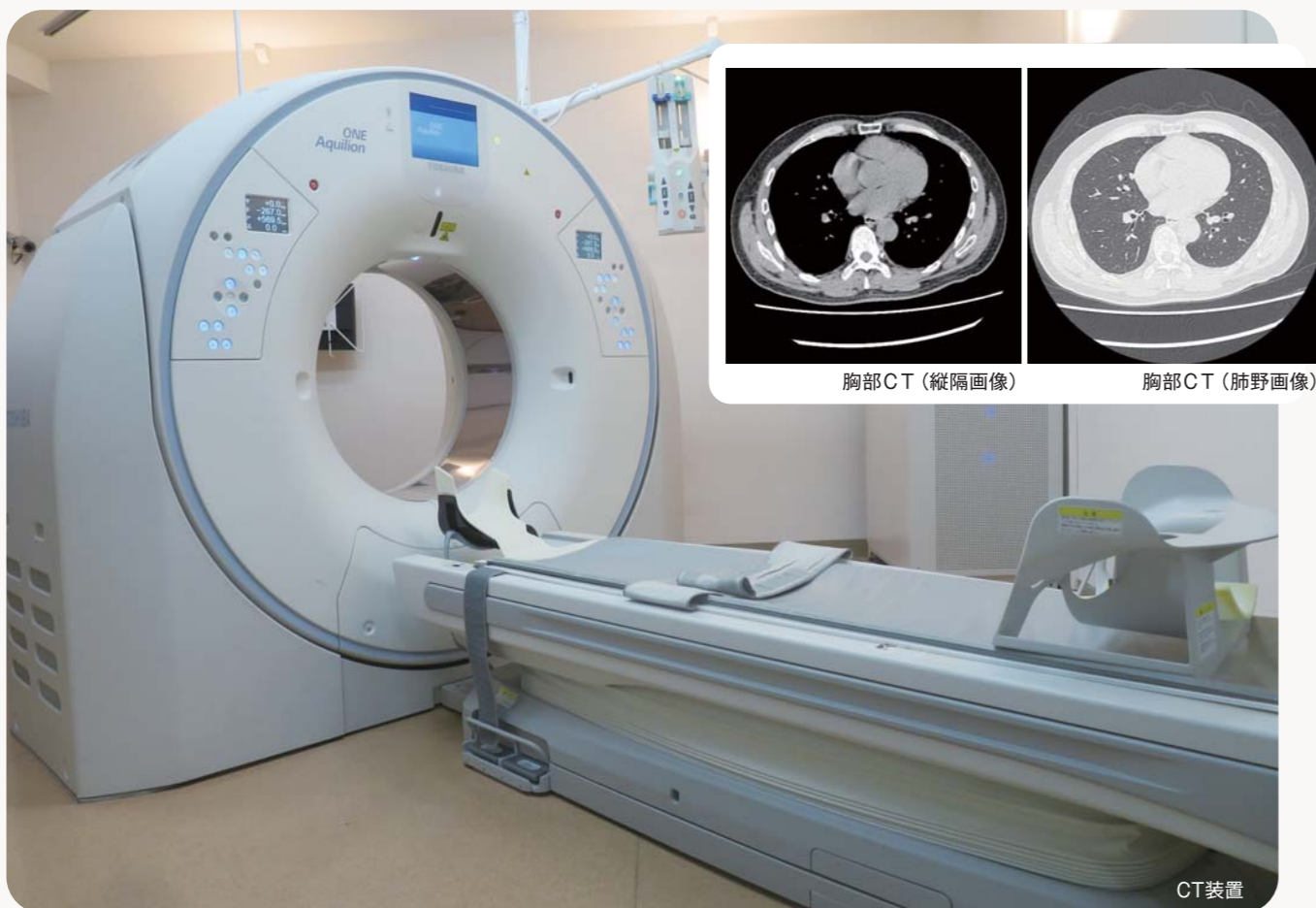
ヘリカルCTは、通常のCTよりも細かい間隔で、らせん状に高速で体を連続撮影することができます。従来のCTでは画像と画像の間隙にあつて見逃されてきたような小さな病巣や、血管の異常を発見することができます。また、得られたデータから、鮮明な三次元の立体画像をつくることもできます。検査時間は5~10分程度です。肺がん、中皮腫、肺気腫などの肺疾患の診断に有効です。また、一部の肝臓の診断もできます。

2) 腫瘍マーカー

腫瘍マーカーとは、ガンが生み出す特殊な物質で、血液中のその物質を測定することにより、ガンの早期発見に役立っています。ただし、異常値ならすぐにガンとは限らないので、腫瘍マーカーの結果が異常値の場合は、診断のためにより詳しい検査をする必要があります。

～この検査結果から推測される病気～

PSA (男性のみ) ----- 前立腺ガン
CEA ----- 結腸ガン・胃ガン・すい臓ガンなどの消化器系ガン、肺ガン、甲状腺ガンなど
CA19-9 ----- すい臓ガン、胆のう・胆管ガン、胃・大腸ガンなど
CA125 (女性のみ) ----- 卵巣ガンなどの婦人科系ガン



脳ドックの内容

クモ膜下出血の原因となる脳動脈瘤や脳梗塞、脳腫瘍などの脳疾患を早期に発見するためのドックです。

1) 身体計測

2) 視力測定

3) 血圧測定

4) 頭部MRI・MRA検査

MRとは、磁気共鳴断層画像診断装置 (Magnetic Resonance) の略で、強い磁気と電波によって人体の断層像を撮影します。X線を使わないため被爆の危険がなく、痛みもなく、あらゆる方向の画像が得られます。頭部MRIでは、脳の萎縮や梗塞、虚血の有無などを、頭部MRAでは脳の血管の様子を調べ血管の狭窄や動脈瘤の有無などを調べます。

MRでは、強い磁気を用いますので、体内にペースメーカーや人工弁、金属のクリップなどが挿入されている方は、原則としてMR検査をお受けいただくことができません。

5) 生理検査(眼底、心電図)

6) 血液検査

7) 尿検査

